
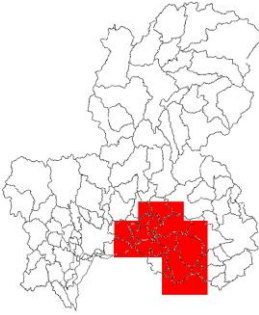


ヒキヨモギ	<i>Siphonostegia chinensis</i> Benth. ex Hook. et Arn.	絶滅危惧 I 類
		ゴマノハグサ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が危機的水準まで減少している。	写真(清水英彦)
形態の特徴	茎は直立し、上部で分枝して高さ30-70cmになる1年草。全体に曲がった短毛が密にはえる。葉は卵形～長卵形で羽状に深く裂ける。花期は8-9月。枝先の葉腋ごとに、鮮黄色で長さ2.8cmの1花をつける。	
生態的特徴	低山の日当りのよい草地に生える。	
分布状況	南千島、北海道～琉球の日本全土、朝鮮、中国に広く分布する。県内では県南の南東部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南の南東部に限定されており、もともと生育個体数も少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定できないことのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責: 佐藤和良